

平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
10	衛生化学	No.1 2枚		

問1 食品の変質に関する次の文章中の空欄にあてはまる最も適当な語句を下の解答欄に書きなさい。

(12点)

- 1) 微生物による食品の変質を(1)という。
- 2) 食品中の自由水の含量を表す尺度として(2)が用いられている。
- 3) アレルギー様食中毒の原因物質は主に(3)である。
- 4) 魚が生臭くなるのは主に(4)の生成による。
- 5) メーラード反応はアミノ酸と(5)との反応である。
- 6) 日本ではジャガイモの発芽防止法として(6)が使われている。

解答欄

1	2	3
4	5	6

採点	
----	--

[]

平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
10	衛生化学	No. 2 2枚		

問2 残留農薬に関する次の文章中の空欄にあてはまる最も適当な語句を下の解答欄に書きなさい。

(18点)

(1)はピピリジニウム系除草剤で、体内で NADPH により、(2)を生成し、これが一連の活性酸素化合物をつくり、過酸化脂質などを生成し、生体に傷害を与える。主に臓器では(3)に傷害を与える。一方、パラチオンはチオリン酸型の農薬である。パラチオンは体内にはいると(4)により代謝活性化されて毒性を発揮する。パラチオンの毒性は(5)の活性中心とリン酸エステル結合することによる活性阻害による。この阻害は(6)により解毒できる。平成18年より残留農薬等に関する新しい制度<(7)制度>が施行された。本制度は原則、すべての農薬等について残留基準を設定し、基準をこえて食品中に残留する場合、その食品の販売等の禁止を行うことができる制度である。残留農薬基準は許容一日摂取量(ADI)と暴露量を試算して設定される。ADI は(8)<当該農薬が動物に毒性影響を与えない量のこと>を個体差および種間差を考慮した安全係数(9)で除して定めている。

解答欄

1	2	3
4	5	6
7	8	9

採点	
----	--

[]